

平成31年度予算概算決定

平成31年度予算概算決定について

(有明海・八代海等のみを対象とする事業)

農林水産省農村振興局
水産庁

(単位：百万円)

事 項	担当省庁	平成30年度 予 算 額	平成31年度 予算概算決定額
1. 有明海特産魚介類生息環境調査委託事業(資料2-2, 2-3, 2-5関連：委託費)	農村振興局	600	600
2. 国営干拓環境対策調査(資料2-1, 2-5関連：全額国費)	農村振興局	328	328
3. 有明海漁業振興技術開発事業(資料2-3, 2-4関連：定額補助)	水産庁 (農村振興局計上)	400	400
4. 有明海のアサリ等の生産性向上実証事業(資料2-3, 2-4関連：委託費)	水産庁	325	325
5. 有明海水産基盤整備実証調査(資料2-3, 2-4関連：全額国費)	水産庁	112	112
合 計		1,765	1,765

注1) 予算額・要求額は国費。

(参考) 関連対策

6. 水産基盤整備事業(水産環境整備事業)			
(5.5/10 [*] 等補助)	水産庁	10,604	15,351
※特措法による嵩上後の補助率			
7. 養殖業成長産業化推進事業(委託費)	水産庁	274	402

注2) 予算額・要求額は有明海・八代海等対策を含む全国分の国費

90 有明海再生対策

【平成31年度予算概算決定額 1,765 (1,765) 百万円】

<対策のポイント>

有明海等の再生に向けて、海域環境の保全・改善と水産資源の回復等による漁業の振興を図るため、有明海沿岸4県が協調した、**海域環境の調査、魚介類の増養殖対策**を行うとともに、**漁場改善対策**を推進します。

<政策目標>

有明海の再生

<事業の内容>

1. 海域環境の調査

- ① **有明海特産魚介類生息環境調査委託事業** **600 (600) 百万円**
有明海の再生に向けた**有明海特産魚介類の最適な生息環境の調査**を実施するとともに、**有明海沿岸4県が協調して産卵場や成育場のネットワークの形成等による資源回復に向けた調査**を実施します。
- ② **国営干拓環境対策調査<公共>** **328 (328) 百万円**
有明海的环境変化の要因解明に向けて、**水質や底質及び生態系の変化等に関する調査**を実施するとともに、**環境保全対策などの対応を検討**します。

2. 魚介類の増養殖対策

(有明海漁業振興技術開発事業) **400 (400) 百万円**
有明海の再生に向けた、**有明海沿岸4県が協調して行う海域特性に対応した効率的な種苗の量産化及び効果的な放流手法等に関する技術開発**を支援します。

3. 漁場改善対策

- ① **有明海のアサリ等の生産性向上実証事業** **325 (325) 百万円**
有明海の漁業者の収益性の向上を図るため、**各漁場におけるアサリ等の漁獲量の増加に資する技術開発・実証**を行います。
- ② **有明海水産基盤整備実証調査<公共>** **112 (112) 百万円**
タイラギ等の資源回復のため、**効果的に餌料環境の改善を図るための漁場の整備方策に関する実証調査**を行います。

(関連対策)

- 1. 水産基盤整備事業(水産環境整備事業) <公共> 15,351 (10,604) 百万円の内数
- 2. 養殖業成長産業化推進事業 402 (274) 百万円の内数

<事業の流れ> ※事業実施主体が国の場合は、国庫負担率10/10



- 【お問い合わせ先】
- (1の事業) 農村振興局農地資源課 (03-6744-1709)
 - (2、関連対策2の事業) 水産庁裁培養殖課 (03-6744-2385)
 - (3①の事業) 水産庁研究指導課 (03-3591-7410)
 - (3②、関連対策1の事業) 水産庁計画課 (03-3502-8491)

<事業イメージ>

アサリ





タイラギ

浮遊幼生ネットワーク







※ 図はアサリ浮遊幼生ネットワークの例を示す。